

(様式1)

1 自己評価及び外部評価結果

作成日 平成 23 年 3 月 1 日

【事業所概要（事業所記入）】

事業所番号	3470102769		
法人名	有限会社 美泉		
事業所名	グループホーム よってきんさい矢野		
所在地	広島市安芸区矢野西五丁目18番30号 (電話) 082-889-6400		
自己評価作成日	平成23年2月10日	評価結果市町受理日	

※ 事業所の基本情報は、介護サービス情報の公表制度のホームページで閲覧してください。

基本情報リンク先UR	<a href="http://www.hksiks.jp/kaigosip/infomationPublic.do?JCD=3470102769&amp;SCD=320">http://www.hksiks.jp/kaigosip/infomationPublic.do?JCD=3470102769&amp;SCD=320</a>
------------	---

【評価機関概要（評価機関記入）】

評価機関名	社団法人広島県シルバーサービス振興会
所在地	広島市南区皆実町一丁目6-29
訪問調査日	平成23年3月8日

【事業所が特に力を入れている点、アピールしたい点（事業所記入）】

<p>地域との関わりを大事にし、事業所も少しでも地域に貢献出来る様に公園掃除、川掃除等に積極的に参加し、交流している。毎日を利用者一人ひとりを尊重し生き生きを過ごして頂けるように職員全員が優しく見守り、適切な対応が出来る様努めています。</p>
--

【外部評価で確認した事業所の優れている点・工夫点（評価機関記入）】

<ul style="list-style-type: none"><li>・当事業所は開所時より、理念に沿って入居者の方々の人権擁護、民主的な運営、地域に根ざしたホームを目指して運営されている。家族や地域との関わりは、開所時よりの地道な取組みにより構築されており、入居者の方々が地域の中でその人らしく暮らし続ける支援ができています。</li><li>・介護度の高い方や、家族関係が希薄な方の入居も積極的に受け入れられており、行政や医療機関、弁護士等との連携を図りながら、安心して最後まで本人が力を振り絞って自分らしく生き切る姿を、みんなで支えられている。</li><li>・常日頃から職員は、入居者の方がよりよく暮らすための課題や、ケアのあり方を新鮮な目で見え確認し、ケアの気づきなどの情報を職員間で共有しながら、実践や介護計画の見直しに活かしている。</li></ul>
---

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
<b>I 理念に基づく運営</b>					
1	1	○理念の共有と実践 地域密着型サービスの意義を踏まえた事業所理念をつくり、管理者と職員は、その理念を共有して実践につなげている。	事業独自の理念を作っている。その中の1つに地域に密着したサービスを掲げ、職員全員で共有し実践に努めている。	法人の理念に沿って、入居者一人ひとりの人権を守り、家族、地域に開かれたホームを作り上げている。全職員に対して理念を採用時や、事業所内研修で繰り返し伝えると共に、日々の実践の中で指導している。	
2	2	○事業所と地域とのつきあい 利用者が地域とつながりながら暮らし続けられるよう、事業所自体が地域の一員として日常的に交流している。	町内会へ加入しており、お世話役や公園掃除、川掃除、町内行事等に積極的に参加している。	開所時より入居者の方々が、地域の中でその人らしく暮らし続ける基盤づくりのために、地域との関わりを地道に取り組まれている。町内会に加入し、地域活動に積極的に参加しながら、交流を深めており、理解と支援の輪が広がっている。	
3		○事業所の力を活かした地域貢献 事業所は、実践を通じて積み上げている認知症の人の理解や支援の方法を、地域の人々に向けて活かしている。	地域の公園、美容室、お店等の交流を利用しお話をしている。		
4	3	○運営推進会議を活かした取組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている。	利用者様、職員、事業所の現状報告を行いサービス向上に活かしている。	運営推進会議では、事業所からの報告とともに、参加者から質問、意見、要望を受け、課題を話し合い、サービス向上に活かしている。運営推進会議を通じて、地域の理解と支援が得られており、より地域との関係も深まってきている。	
5	4	○市町との連携 市町担当者と日頃から連絡を密に取り、事業所の実績やケアサービスの取組みを積極的に伝えながら、協力関係を築くように取組んでいる。	市主催の研修、個別の相談、実地・集団指導を通して、協力関係を築いている。	市の担当者の運営推進会議への参加は、日程調整等により、若干難しいようではあるが、必要に応じて随時連絡を取り合っている。	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
6	5	<p>○身体拘束をしないケアの実践</p> <p>代表者及び全ての職員が「指定地域密着型サービス指定基準及び指定地域密着型介護予防サービス指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、玄関の施錠を含めて身体拘束をしないケアに取り組んでいる。</p>	「身体拘束排除宣言」を掲げ、研修を通して具体的な理解をし取り組んでいる。	全職員がどんな些細な身体拘束でも許されるべきではないという認識を持ち、ケアの実践にあたっている。高齢者の権利擁護や身体拘束に関する勉強会を事業所の中で実施し、職員の共有意識を図っている。	
7		<p>○虐待の防止の徹底</p> <p>管理者や職員は、高齢者虐待防止法等について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内での虐待が見過ごされることがないように注意を払い、防止に努めている。</p>	虐待はありません。日々の生活の中で、お互いに注意を払い見過ごしていない。		
8		<p>○権利擁護に関する制度の理解と活用</p> <p>管理者や職員は、日常生活自立支援事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、それらを活用できるよう支援している。</p>	社内、社外研修へ参加し理解を深めている。必要時は関係者に紹介し支援している。		
9		<p>○契約に関する説明と納得</p> <p>契約の締結、解約又は改定等の際は、利用者や家族等の不安や疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている。</p>	契約の内容、重要事項説明書を説明し、理解・納得の上で押印されている。		
10	6	<p>○運営に関する利用者、家族等意見の反映</p> <p>利用者や家族等が意見、要望を管理者や職員並びに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている。</p>	家族・利用者からの意見要望の窓口を作っている。玄関に意見箱を設置し運営に反映させている。	運営推進会議や家族の来訪時を通じて、出された意見等を前向きに受け止め、出された意見等を検討し、ケアや運営に反映させている。	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
11	7	○運営に関する職員意見の反映 代表者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている。	年に2回自己申告書の中で、意見や提案を提出している。管理者が得た意見は代表者へ報告し、ミーティングも行っている。	管理者は日頃から職員とコミュニケーションを図るよう心がけ、問いかけたり、聞き出ししたりしている。また、書面にて要望することにより、代表者に伝わり、管理者会議で検討して、運営に反映されている。	
12		○就業環境の整備 代表者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、給与水準、労働時間、やりがいなど、各自が向上心を持って働けるよう職場環境・条件の整備に努めている。	年に2回自己申告の機会を設けている。様々な意見が申告される。状況を把握し条件整備に努めている。		
13		○職員を育てる取組み 代表者は、管理者や職員一人ひとりのケアの実際と力量を把握し、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている。	把握している。年間を通して研修プログラムを立て社内、外、キャリアパス等の受講機会を確保している。資格取得の援助もしている。		
14		○同業者との交流を通じた向上 代表者は、管理者や職員が同業者と交流する機会をつくり、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取組みをしている。	安芸地区同業者交流会に参加し、地域の同業者との交流をしている。サービスの質の向上につなげている。		
<b>II 安心と信頼に向けた関係づくりと支援</b>					
15		○初期に築く本人との信頼関係 サービスの利用を開始する段階で、本人が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、本人の安心を確保するための関係づくりに努めている。	相談から入居前訪問で情報を把握している。入居後は積極的なコミュニケーションを図り安心を確保する為の関係づくりに努めている。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
16		○初期に築く家族等との信頼関係  サービスの利用を開始する段階で、家族等が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、関係づくりに努めている。	理容開始前より入居前訪問を通して利用者のごこと通院のごこと、病気になった時等々のご質問にしっかり傾聴し関係作りに努めている。		
17		○初期対応の見極めと支援  サービスの利用を開始する段階で、本人と家族等が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている。	利用者、家族の思い、意向をよく聞き、担当ケアマネ等と相談し優先順位を見極め対応している。		
18		○本人と共に過ごし支えあう関係  職員は、本人を介護される一方の立場に置かず、暮らしを共にする者同士の関係を築いている。	日常生活の中で、いつも主は利用者として位置づけしている。見守りを通してご自分で出来ることは自立で		
19		○本人と共に支えあう家族との関係  職員は、家族を支援される一方の立場に置かず、本人と家族の絆を大切にしながら、共に本人を支えていく関係を築いている。	常に思いを聞き、ケアに取り組んでいる。誕生会、旅行、敬老会等の行事の参加、面会時の三者（利用者・家族・職員）の茶会を通して支えている。		
20	8	○馴染みの人や場との関係継続の支援  本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている。	本人家族に入居時に必ずお聞きしている。美容院、理容院、かかりつけ医、ご自宅への帰宅等に同行し支援に努めている。	馴染みの店や場所に出かけたり、事業所が出掛けていく場を積極的につくりながら、その人らしく地域で生き切るための支援に取り組んでいる。	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
21		○利用者同士の関係の支援 利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せずに利用者同士が関わり合い、支え合えるような支援に努めている。	利用者同士の関係に合った席作り、順番。全介助・重度の認知症の方々も職員の支援により、孤立化していない。		
22		○関係を断ち切らない取り組み サービス利用（契約）が終了しても、これまでの関係性を大切にしながら、必要に応じて本人・家族の経過をフォローし、相談や支援に努めている。	サービス利用終了後も家族のフォローをし相談や支援に努めている。		
<b>Ⅲ その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント</b>					
23	9	○思いやりや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している。	日々の生活、介護計画時のアセスメント等で個々の思い、希望、家族の意向を把握している。いつでも本人本位に考えている。	入居前の面接・自宅訪問時から、生活の様子、思いや暮らしの希望、意向の把握に努めている。センター方式のアセスメントシートの活用で、本人の思いを全職員が共有するようにしている。	
24		○これまでの暮らしの把握 一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている。	入居前訪問、アセスメント、入居後も本人家族からの聞き取り把握に努めている。		
25		○暮らしの現状の把握 一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状の把握に努めている。	日常生活の一日一日をしっかりと見守り観察している。現状の把握に努めている。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
26	10	<p>○チームでつくる介護計画とモニタリング</p> <p>本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映し、現状に即した介護計画を作成している。</p>	4ヶ月毎に計画作成をしている。ケアカンファレンスを実施し、月毎の見直し、評価をして、現状に即した介護計画を作成している。	入居者一人ひとりがよりよく暮らしていくための介護計画は、本人や家族の希望や思いをくみ取り、職員やかかりつけ医などとも相談をして作成している。また、職員間で計画内容を共有し、定期的な見直しと評価を行っている。	
27		<p>○個別の記録と実践への反映</p> <p>日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、職員間で情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている。</p>	個別記録を記入し、職員間で申し送りを行い実践や介護計画の見直しに活かしている。		
28		<p>○一人ひとりを支えるための事業所の多機能化</p> <p>本人や家族の状況、その時々生まれるニーズに対応して、既存のサービスに捉われない、柔軟な支援やサービスの多機能化に取り組んでいる。</p>	通院の送迎、入院時の付添い面会時の送迎（高齢の家族）生活の一般の中でニーズに即した取り組みをしている。		
29		<p>○地域資源との協働</p> <p>一人ひとりの暮らしを支えている地域資源を把握し、本人が心身の力を発揮しながら安全で豊かな暮らしを楽しむことができるよう支援している。</p>	地域の運動会、祭り、中学生・専門学校生の職場体験等の協力等で楽しみを支援している。		
30	11	<p>○かかりつけ医の受診診断</p> <p>受診は、本人及び家族等の希望を大切にし、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している。</p>	毎週、往診がある。必要があれば外来受診し検査、治療を受けている。入院時には本人家族の意向を大切に支援している。	本人・家族の希望により、主治医が決められ、往診も毎週行われている。職員間での受診結果に関する情報の共有が、できている。	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
31		○看護職員との協働 介護職員は、日常の関わりの中でとらえた情報や気づきを、職場内の看護職員や訪問看護師等に伝えて相談し、個々の利用者が適切な受診や看護を受けられるように支援している。	看護職員は配置されていない。事業本部に配置されている。日常の気づきを伝え受診や看護の支援をしていただいている。		
32		○入退院時の医療機関との協働 利用者が入院した際、安心して治療できるように、また、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。又は、そうした場合に備えて病院関係者との関係づくりを行っている。	入院時にホームでの生活状況を介護要約として渡している。入院中は職員が交代で訪問し病院関係者と連携を密にしている。		
33	12	○重度化や終末期に向けた方針の共有と支援 重度化した場合や終末期のあり方について、早い段階から本人・家族等と話し合いを行い、事業所でできることを十分に説明しながら方針を共有し、地域関係者と共にチームで支援に取り組んでいる。	入居前、入居時に重度化した時や、看取り実施時の指針を家族に説明し同意を得ている。また、状況の変化とともに、本人、家族、医師、事業所との話し合いを行い意向の確認を行っている。	看取りは特別なものではなく、暮らしの延長としてとらえられている。早期からの話し合いの機会や、状況変化に応じた繰り返しの話し合いにより、合意のうえで安心と納得を得て、支援に取り組んでいる。	
34		○急変や事故発生時の備え 利用者の急変や事故発生時に備えて、全ての職員は応急手当や初期対応の訓練を定期的に行い、実践力を身に付けている。	マニュアルを作成している。また、初期手当等研修を行い実践につなげている。		
35	13	○災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を全職員が身につけるとともに、地域との協力体制を築いている。	全職員、利用者様参加にて、年2回避難訓練を実施している。	マニュアルを作成し、年2回入居者とともに避難訓練を実施している。また、緊急避難経路や、緊急通報システム・消火器等の場所等の点検も定期的に行っている。	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
IV その人らしい暮らしを続けるための日々の支援					
36	14	○一人ひとりの人格の尊重とプライバシーの確保  一人ひとりの人格を尊重し、誇りやプライバシーを損ねない言葉かけや対応をしている。	声の大きさ、トーンに配慮し同じ目線にし、態度は優しい雰囲気でするようにしている。	人生の大先輩に対して敬意を表し、人権を尊重した対応(尊敬語・謙譲語・依頼形の会話)や、プライバシーの保護を徹底している。また、会議等で職員一人ひとりが理念を再確認し、ケアを振り返る場を設けている。	
37		○利用者の希望の表出や自己決定の支援  日常生活の中で本人が思いや希望を表したり、自己決定できるように働きかけている。	思いや希望が言いやすい環境づくりをしている。飲み物や衣類等、自己決定できる様に支援している。		
38		○日々のその人らしい暮らし  職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している。	業務にとらわれるのではなく、個々のペースに合わせ生活している。朝の対応時に希望を聞いている。		
39		○身だしなみやおしゃれの支援  その人らしい身だしなみやおしゃれができるように支援している。	馴染みの美容院にカットや毛染めに行き、旅行などの外出等にはお化粧品等の援助をしている。		
40	15	○食事を楽しむことのできる支援  食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている。	個々の好物を取り入れ、献立を作成している。下ごしらえや盛り付けなど職員と一緒にやっている。可能な方には台所まで下膳して頂いている。	食事の時間はおおむね決めているが、各々が自分のペースで食事を取ることかできる。加齢に伴う身体機能の重度化により、一緒に食事の準備等ができる方が少ないが、買い物と一緒に材料を選んだり、他の方が調理する様子を見学してもらったりなど、個々の状況に合わせた関わりを支援している。	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
41		<p>○栄養摂取や水分確保の支援</p> <p>食べる量や栄養バランス，水分量が一日を通じて確保できるよう，一人ひとりの状態や力，習慣に応じた支援をしている。</p>	水分、食事摂取量を細かく記録している。水分量が少ない方には、夜間起きられた際、少しずつでも寸分を飲んで頂いている。食事の少ない方には、ラコールや野菜ジュースなどで飲用して頂いている。		
42		<p>○口腔内の清潔保持</p> <p>口の中の汚れや臭いが生じないように，毎食後，一人ひとりの口腔状態や本人の力に応じた口腔ケアをしている。</p>	口腔ケアは毎食後行っている。自力で出来ない方には、ハミングットなどを利用し口腔ケアをしている。		
43	16	<p>○排泄の自立支援</p> <p>排泄の失敗やおむつの使用を減らし，一人ひとりの力や排泄のパターン，習慣を活かして，トイレでの排泄や排泄の自立に向けた支援を行っている。</p>	一人一人の排泄パターンを把握し声かけにて誘導を行っている。自立に向けて支援を行っている。大量不良時は室内でポータブルトイレを使用して頂いている。	自尊心やプライバシーに配慮したさりげない支援をしている。個別の排泄パターンを全職員が把握したうえで、適切な対応を検討し、支援をしている。	
44		<p>○便秘の予防と対応</p> <p>便秘の原因や及ぼす影響を理解し，飲食物の工夫や運動への働きかけ等，個々に応じた予防に取り組んでいる。</p>	毎日体操を行っている。天気の良い日は散歩をしている。起床時に牛乳を飲むなど個々に合った予防をしている。		
45	17	<p>○入浴を楽しむことができる支援</p> <p>一人ひとりの希望やタイミングに合わせて入浴を楽しめるように，職員の都合で曜日や時間帯を決めてしまわずに，個々に応じた入浴の支援をしている。</p>	入浴前は健康チェックを行い，希望や体調を確認しながら入浴して頂いている。湯加減等お聞きし希望に応じている。	入居者の習慣や希望をよく把握したうえで、それを活かしながら安心と満足、スムーズで安全な入浴支援に取り組んでいる。また、プライバシーに配慮した入浴介護への配慮を心がけている。	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
46		<p>○安眠や休息の支援</p> <p>一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、休息したり、安心して気持ちよく眠れるよう支援している。</p>	一人一人の生活パターンに合わせて日々を過ごして頂き寝具や衣類の清潔を支援し、良眠できるようにしている。		
47		<p>○服薬支援</p> <p>一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている。</p>	薬の処方箋を個人ファイルに綴り、いつでも把握できるようにしている。内服時には職員が付き添い確認している。		
48		<p>○役割、楽しみごとの支援</p> <p>張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、嗜好品、楽しみごと、気分転換等の支援をしている。</p>	年間行事（花見、敬老会など）を楽しみにされている。料理の盛り付けや野菜刻みなどを一人一人に合わせて支援している。		
49	18	<p>○日常的な外出支援</p> <p>一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援に努めている。また、普段は行けないような場所でも、本人の希望を把握し、家族や地域の人々と協力しながら出かけられるように支援している。</p>	希望に応じて、散歩、買い物等へ同行している。家族の協力にて外食等にも定期的に出かけている。	本人の意思や希望を尊重しながら、買い物や散歩に出かけている。また、自宅への帰宅支援、ゆかりの土地への訪問、旅行など個々の希望に応じて積極的な外出に取り組んでいる。	
50		<p>○お金の所持や使うことの支援</p> <p>職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している。</p>	ご家族よりお金を預り、必要時に見守りにて使用している。金銭ノートを作成しており、レシート・詳細を記入している。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
51		○電話や手紙の支援 家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援をしている。	現在手紙を書かれている方はおられないが、電話は子機を使用いただいている。		
52	19	○居心地の良い共用空間づくり 共用の空間（玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等）が、利用者にとって不快や混乱をまねくような刺激（音、光、色、広さ、温度など）がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている。	民家改造型であるためトイレ、玄関、洗面所、廊下等に季節の花を生けたり、調度品も使い慣れた物を置き居心地よく過ごされるよう工夫している。	居間の大きな窓からは、四季の変化を感じとることができ、自然の光を取り込んだ明るい空間となっている。また、居心地のよさや心身の活力を引き出すために、生活感や季節感のあるものをうまく活用しながら暮らしの場を整えている。	
53		○共用空間における一人ひとりの居場所づくり 共用空間の中で、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている。	利用者の方々がゆっくりくつろいで頂けるよう、リビングにソファが2台設置しており、好きな場所で気のあった利用者同士でお話出来る様工夫している。		
54	20	○居心地よく過ごせる居室の配慮 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている。	入居者の一人一人が昔から使い慣れた、生活用品、家具を持ち込み、家族の写真や一年間のアルバムを飾ったりして、居心地よく過ごせるよう職員と一緒に居室作りをしている。	居室はその人らしさを大切に整えられており、家具の配置も思い思いに置かれている。これまでの生活とつながる物を本人・家族と相談して居室作りをしている。	
55		○一人ひとりの方を活かした安全な環境づくり 建物内部は一人ひとりの「できること」や「わかること」を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している。	「トイレ」「洗面所」など解りやすい様にドアに貼っている。出来る方には生け花などもして頂き、自立生活を支援している。		

V アウトカム項目			
56	職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる。		①ほぼ全ての利用者の ②利用者の3分の2くらいの ③利用者の3分の1くらいの ④ほとんど掴んでいない
57	利用者と職員が、一緒にゆったりと過ごす場面がある		①毎日ある ②数日に1回程度ある ③たまにある ④ほとんどない
58	利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている		①ほぼ全ての利用者が ②利用者の3分の2くらいが ③利用者の3分の1くらいが ④ほとんどいない
59	利用者は、職員が支援することで生き生きとした表情や姿がみられている		①ほぼ全ての利用者が ②利用者の3分の2くらいが ③利用者の3分の1くらいが ④ほとんどいない
60	利用者は、戸外への行きたいところへ出かけている		①ほぼ全ての利用者が ②利用者の3分の2くらいが ③利用者の3分の1くらいが ④ほとんどいない
61	利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごせている		①ほぼ全ての利用者が ②利用者の3分の2くらいが ③利用者の3分の1くらいが ④ほとんどいない
62	利用者は、その時々状況や要望に応じた柔軟な支援により、安心して暮らせている		①ほぼ全ての利用者が ②利用者の3分の2くらいが ③利用者の3分の1くらいが ④ほとんどいない
63	職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができている		①ほぼ全ての家族と ②家族の3分の2くらいと ③家族の3分の1くらいと ④ほとんどできていない

64	通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている	<p>①ほぼ毎日のように</p> <p>②数日に1回程度</p> <p>③たまに</p> <p>④ほとんどない</p>
65	運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係やとのつながりの拡がりや深まりがあり、事業所の理解者や応援者が増えている	<p>①大いに増えている</p> <p>②少しずつ増えている</p> <p>③あまり増えていない</p> <p>④全くいない</p>
66	職員は、生き活きと働けている	<p>①ほぼ全ての職員が</p> <p>②職員の3分の2くらいが</p> <p>③職員の3分の1くらいが</p> <p>④ほとんどいない</p>
67	職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う	<p>①ほぼ全ての利用者が</p> <p>②利用者の3分の2くらいが</p> <p>③利用者の3分の1くらいが</p> <p>④ほとんどいない</p>
68	職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う	<p>①ほぼ全ての家族等が</p> <p>②家族等の3分の2くらいが</p> <p>③家族等の3分の1くらいが</p> <p>④ほとんどできていない</p>